

# 広島研修

## 平和を願う

十四山中学校 犬飼 崇文

### 【平和記念資料館】

平和記念資料館には、原爆が残した多くの爪痕、原爆によって失われたもの、原爆が生んだ悲しみが包み隠さず展示されていました。

数多くあった展示の中で僕が一番心に残ったのは、「我が子の名を呼び叫んでいる母親」という絵です。なぜなら、「息子を亡くして悲しい」という母親の気持ちと、「息子をどこかへ連れ去ってしまった新型爆弾を許さない」という憎悪を強く感じたからです。その絵は、原爆が投下された直後に川を見て描かれた絵でした。川に浮かんでいるのは学徒動員によって働いていた最中に原爆の光を浴びた学生たちです。動員された学徒の中には、先ほどの絵に描かれていた母親の息子もいます。みんな熱線を浴びて皮膚がどろどろになり、ほとんどの人が亡くなっています。誰が誰かなんてとても分からなかったのです。でも、母親は最愛の息子を亡くしたくありません。だから必死に叫んでいるのです。たとえ息子が死んでしまうと分かっても……。

### 【原爆によって】

原爆はいろいろなものを生み出しました。人々の恐怖、新しく認定された「原爆病」、放射能により、出たら確実に死ぬという「死の斑点」、熱線により皮膚が焼けたでできる「ケロイド」。また、その一方、多くのものを奪いました。まず第一に原爆は周囲の形あるものを全てをなくしました。そして、被爆した人々の生活、家族、友人、仲間、人間関係など、取り戻すことなど不可能なものばかりです。

原爆によって世界が変わりました。人が変わりました。心が変わりました。聞こえるのは、みんなの叫び声、うめき声、見える光景は地獄、そんな世界が一度でもあったのがとても信じられません。

### 【まとめ】

広島研修では、今まで実感が湧かなかった、原爆を受けた方々への甚大な被害や、原爆によって生まれた病気、被爆者の方々の心情がわかりました。

広島は、原爆によって刻まれた爪痕を、後世に伝えるためにはっきりと残っていました。僕たちはそれを肌で感じて学びました。その学んだことを他の人たちと共有し、全員で平和について考えたいと思いました。何より、原爆の悲劇を繰り返さないために、僕たちに何ができるのかを考えていきたいです。



## 失われたもの

十四山中学校 太田 里香

### 【心に残った展示物 —『息子のパンツ』—】

その血がにじんだパンツは大尾田洋大ちゃん(当時2歳)が被爆時に履いていた物です。母親に背負われていた洋大ちゃんは、背後から熱線に焼かれ、大火傷を負いました。救護所で「あつい、あつい」「水がほしい」とねだりましたが、水を飲ませると死ぬと聞いていた母親は、水を与えませんでした。その夜11時に洋大ちゃんは息をひきとりしました。

私はこの展示を見た時、心が張り裂けるような何とも言えない衝撃を受けました。何の罪もない人たちの未来や幸せを瞬で奪っていく原爆の恐ろしさを間近に感じました。そして、二度と戦争が起きてほしくない、二度と小さな幼い“命”がなくなってほしくない強く思いました。

### 【被爆ピアノ】

私は被爆ピアノを弾いて、戦争時に辛い思いをした方たちの思いが詰まった音だと感じました。いつも弾いているピアノのような透き通る音ではなかったけれど、本当に被爆したのかと思うほど、他のピアノとは違う、特別なきれいな音だと思いました。そんな被爆ピアノの伴奏で『平和の鐘』を歌う貴重な機会をいただき、本当に良い経験になりました。



### 【平和について】

私が広島研修で一番学んだことは、命の尊さについてです。事前学習で知っていたことでも、実際に目で見ると、思っていたよりもひどいものばかりでした。2キロメートル離れていても被害が出る。それは私にとって、どれだけ頑張っても、想像することが困難でした。笑顔、緑など、現在当たり前にあるものがない生活。それを少し実感することができ、戦時中の方たちの思いを深く考えることができました。幼くして亡くなった人たちが今生きていれば…と考えるととても辛かったです。禎子さんのように12年という長い時が経っても病気になることがある。原爆よりも怖いものはないと心から思いました。そして、私が生まれてこられたことは本当に奇跡で、命はつながっていくのだということもわかりました。原爆による惨劇が二度と起こらないように、次へ次へとつないでいこうと思います。

## TOPICS

# 令和2年度健診結果説明会

健診を受けたことで、満足していませんか？気になる項目はありませんでしたか？検査の意味を理解して、自分の体のことを知りましょう。お気軽に参加してください。参加をお待ちしています。

とき	9月14日(月)午前9時30分 ※午前9時15分～受付開始
ところ	保健センター(市役所3階)
対象者	30歳～74歳の市民の方で、特定健診(30代健診)を受診された方
内容	・特定健診の検査項目の解説、生活習慣予防のポイント ・災害時の口腔ケア ～知っててよかった誤嚥性肺炎予防～ ・健診結果にあわせた個別相談、特定保健指導
持ち物	①健康診査の結果票 ②筆記用具
申込方法	8月20日(木)～9月4日(金)に、市役所健康推進課へ電話にて申し込みください。お申し込みの際は「健診結果説明会のお申し込み」とお伝えください。

問・申 市役所健康推進課(内線 312～317)

## TOPICS

# 令和2年度の熱中症予防行動

環境省  
厚生労働省  
令和2年6月

## 熱中症予防×コロナ感染防止で「新しい生活様式」を健康に!

「新しい生活様式」とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である  
①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗いの実施や「3密(密集、密接、密閉)」を避ける、等を取り入れた日常生活のこと。

### 注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク・換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

**熱中症を防ぐために**  
**マスクをはずしましょう**

ウイルス感染対策は忘れずに!

屋外で人と2m以上(十分な距離)離れている時

**マスク着用時は**  
**激しい運動は避けましょう**

のどが渇いていなくても  
**こまめに水分補給を**  
**しましょう**

気温・湿度が高い時は  
特に注意しましょう



新型コロナウイルス感染症に関する情報：  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)  
熱中症に関する詳しい情報：<https://www.wbgt.env.go.jp/>

